

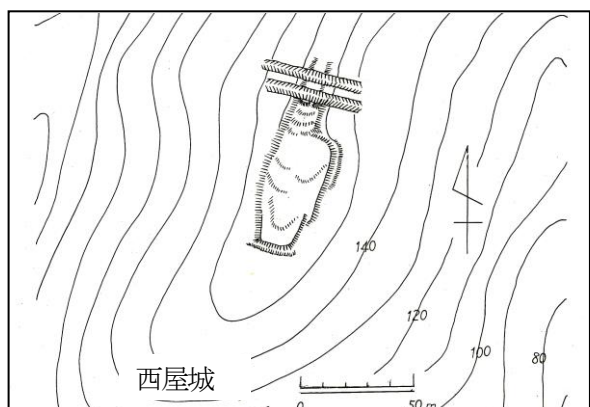
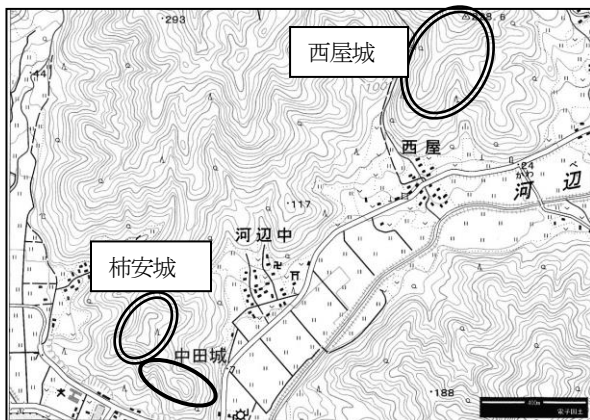
にしやじょう  
No.5 西屋城

舞鶴市字西屋小字大谷他

- ・遺構---曲輪、堀切、土塁 ・占地---尾根
- ・標高---160m ・比高---140m
- ・遺跡地図番号---271

この城は、西屋集落背後の尾根に位置しており、北の尾根を二重の堀切で遮断し、南北60m、東西30m程の曲輪を確保している。曲輪の南は空堀で区切る程度の防禦で、二重堀切側に低土塁が残るものの、曲輪全体の削平も不十分である。

「丹後旧語集」は西屋村の古城城主を井上石見守としている。伊関という城主名をあげる近世史料もある。「丹哥府志」は由里村の条で「源三位頼政の古跡」としている。



かきやすじょう  
No.6 柿安城

舞鶴市字赤野小字タコ他

- ・遺構---曲輪、堀切、土塁、竪堀
- ・占地---山頂・標高---150m
- ・比高---140m・遺跡地図番号---289

この城は、河辺川が舞鶴湾に合流する部分にある。南側の山麓が浜辺となっていることから海城とも考えられる。この城から南東に延びる尾根の先端にある中田城とも無関係ではなさそうである。

遺構の規模は南北120m程で、曲輪から堀切までの距離が20m程とかなり離れており、中田城より古い時代の遺構であると考えられる。曲輪は北と南に分かれ、その中間部は削平状態が悪く自然地形の部分もある。

この城の城主に関する記録や伝承はないが、中田城城主としては赤野彦左衛門があげられている。

